

## 2023 年度 日本歯科保存学会学会賞・同学術賞・同奨励賞選考経過および結果

日本歯科保存学会学会賞・同学術賞・同奨励賞選考委員会（以下、選考委員会）は、2023 年 2 月 27 日、Zoom において開催された。

学会賞には被推薦者 4 名、学術賞の応募者は 2 名、奨励賞の応募者は 5 名であった。以下に選考経過を報告する。

学会賞、学術賞、奨励賞については日本歯科保存学会表彰制度規程、同細則に示された審査対象、資格、選考基準に従って、被推薦者および応募者が選考対象となるかについて資格審査を行った。

選考結果は 2023 年 6 月の春季学術大会時総会で承認され、表彰が行われた。

学会賞の選考については、細則に示されている選考基準に基づいて、選考対象者 4 名および推薦者である本学会理事より提出された、推薦申請書等について慎重に審議した結果、選考対象者が日本歯科保存学会学会賞を受賞する資格があるものと判定した。

以下に受賞者を示す。

井上 哲（理事）

所属：北海道大学大学院歯学研究院・教授

川上智史（理事）

所属：北海道医療大学歯学部・教授

佐野英彦（理事）

所属：北海道大学大学院歯学研究院・教授

吉山昌宏（理事）

所属：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・教授

学術賞の選考については、日本歯科保存学会表彰制度規程に基づいて、選考対象者 2 名の研究業績が評価された。資格審査の後、一連の研究成果および学術領域への貢献度に関して各選考委員による採点が行われ、さらに総合的な討論を経て、以下の 2 名を学術賞受賞候補者として選考した。

白井 通彦 所属：九州歯科大学歯周病学分野

Gingival epithelial cells support osteoclastogenesis by producing receptor activator of nuclear factor kappa B ligand via protein kinase A signaling

Usui M, Sato T, Yamamoto G, Okamatsu Y, Hanatani T, Moritani Y, Sano K, Yamamoto M, Nakashima K.

Journal of Periodontal Research 2015 ; 51 : 462-470

他 4 編

辻本 暁正 所属：アイオワ大学歯学部保存修復学講座

Fatigue bond strength of dental adhesive systems: Historical background of test methodology, clinical considerations and future perspectives

Akimasa Tsujimoto, Wayne W. Barkmeier, Erica C. Teixeira, Toshiki Takamizawa, Masashi Miyazaki, Mark A. Latta

Japanese Dental Science Review 2022 ; 58 : 193-207

他 4 編

奨励賞の選考にあたっては、選考委員会が定めた以下の選考項目に従って対象論文に対する総合的な審議を行った後、各選考委員の採点を集計し、選考した。

- 1) 独創性：課題の着想，研究方法の選択，結果の解釈などに独自の見解が認められるか。
- 2) 論理性：実験の展開，結果の考察，結論の導き方などに妥当性が認められるか。
- 3) 発展性：研究の将来性，さらなる成果が期待できるか。
- 4) 貢献性：保存学領域の研究，教育，臨床への波及効果は大きいか。

その結果，以下の候補者および応募論文を日本歯科保存学会奨励賞として選考した（50音順，①：論文題目，②：研究発表）。

小谷地（中根）咲 所属：東京歯科大学歯周病学講座

- ①Systemic administration of cytotoxic T lymphocyte-associated antigen 4 (CTLA-4)-Ig abrogates alveolar bone resorption in induced periodontitis through inhibition of osteoclast differentiation and activation : An experimental investigation  
Journal of Periodontal Research 2021 ; 56 : 972-981
- ②歯周炎による歯槽骨吸収における CTLA-4（細胞傷害性 T リンパ球抗原 4）の役割および破骨細胞分化調整メカニズムの解明  
(2021 年度春季学術大会発表)

谷口 友梨 所属：広島大学大学院医系科学研究科歯周病態学研究室

- ①Periapical lesion following Cnm-positive *Streptococcus mutans* pulp infection worsens cerebral hemorrhage onset in an SHRSP rat model  
Clinical and Experimental Immunology Advance access publication 11 November 2022  
DOI : 10.1093/cei/uxac094
- ②Cnm 陽性 *Streptococcus mutans* 歯髄感染が脳出血を誘導するメカニズムの解明  
(2022 年度秋季学術大会発表)

内藤 克昭 所属：大阪大学大学院歯学研究科口腔分子感染制御学講座（歯科保存学教室）

- ①Improvement of acid resistance of Zn-doped dentin by newly generated chemical bonds  
Materials & Design 215 (2022) 110412
- ②X 線ビームを用いた象牙質に導入した亜鉛の結合状態解析  
(2021 年度春季学術大会発表)

中島麻由佳 所属：新潟大学大学院医歯学総合研究科歯周診断・再建学分野

- ①Topical treatment of periodontitis using an iongel  
Biomaterials 2021 ; 276 : 121069
- ②メタトランスクリプトーム解析を用いた歯周疾患ステージにおける細菌種間のネットワーク構造と機能組成の比較  
(2020 年度春季学術大会発表)

李 潤伯 所属：大阪歯科大学歯周病学講座

- ①Glucose Starvation-Caused Oxidative Stress Induces Inflammation and Autophagy in Human Gingival Fibroblasts  
Antioxidants 2022 ; 11 : 1~14
- ②細胞内グルコース欠乏によるヒト歯肉組織の恒常性とオートファジーに及ぼす影響  
(2022 年度春季学術大会発表)